

◇地域農業を支える担い手の確保

取組方向

農業の担い手を確保するため、新規就農者、就農希望者等を対象に研修会や個別指導を実施し、農業経営の自立を支援します。また地域農業の活性化と農地の有効活用を図るため、企業等の農業参入を支援します。

意欲ある農業者には、認定農業者の認定を推進し、農地の利用集積や支援事業の利用を推進するとともに、農作業受託の組織化を支援します。

また、家族経営協定の締結推進や女性の農業委員登用要請等を通じ、農村女性や青年農業者の経営参画を支援し、地域農業の活性化を図ります。

主な取組内容

- 新規就農希望者のための研修機会を充実するため、研修受入農家等を確保するとともに、新規就農者に対しては、技術及び経営面を重点的に支援します。
- 市町村認定農業者協議会と連携し、農業者に対し認定農業者制度や関連する支援事業等を周知します。
- 農作業受託団体等を対象とした生産技術研修会を開催し、「おいしいお米の産地」づくりと農作業受託の円滑化を推進します。
- 男女共同参画や女性の農業参画を促進するため、家族経営協定の締結を推進するとともに、女性農業者の能力向上講座を開催します。
- 企業からの農業参入相談・情報等を関係機関・団体で共有し、適正かつ円滑に農業参入できるよう支援します。

代表的な指標

指標名	単位	H22実績	H23実績	H24目標	H27目標
認定農業者数	人	829	785	844	865
新規就農者数	人	24	19	33	33
家族経営協定締結戸数	戸	349	349	364	384

◇観光農業と都市農村交流による地域農業の振興

取組方向

管内を訪れる観光客等の増加につながるよう、市町村、農協、観光団体等と連携し、観光果樹園、農産物直売所等への誘客対策や情報発信を実施します。

消費者ニーズを踏まえた新品種や優良品種及び新品目の導入・作付け拡大を図り、販売期間の拡充等による高収益化と、消費者に信頼される観光果樹産地の確立を目指します。

農業者、農産物加工組織、農村女性起業等による地元農産物を活用した新たな加工品の開発や、地域特産品の拡充、農産物直売所等の行う地産地消の取組を支援します。

グリーンツーリズム等により都市農村交流を積極的に推進し、地域農業の活性化が図られるよう支援します。

主な取組内容

- 観光果樹園や農産物直売所等への誘客対策として、市町村、農協、観光団体等と連携し、利根沼田みのりの里スタンプラリーを実施するとともに、地元農産物、直売所・観光果樹園及び農村景観などの観光資源等を積極的に情報発信します。
- 管内観光果樹の主要品目(りんご、ぶどう、ブルーベリー、おうとう)の新品種や優良品種及び新品目の導入、作付け拡大による販売期間の拡充と高品質安定生産による高収益化に努めるとともに、販売力の強化を図ります。
- 農産物直売所や飲食店、ホテル・旅館等を対象に、県産農産物を活用した地産地消の取組や地元農産物を活用した加工品開発等の起業活動を支援します。
- グリーン・ツーリズムの受入体制を整備するため、農林漁業体験民宿の開設や活動拠点となる生産基盤の整備を積極的に支援します。
- 「きのこ」の消費拡大等を図るため、地域イベントや直売施設等での消費宣伝活動を支援します。

代表的な指標

指標名	単位	H22 実績	H23 実績	H24 目標	H27 目標
果樹の新品種等作付面積	ha	39.0	39.3	50.5	67.5
地産地消推進店	件	55	58	60	65
女性起業数	件	30	30	31	33

◇競争力ある高原野菜産地の確立

取組方向

ほうれんそうやトマトなどの栽培に雨よけ施設の導入促進を図り、高品質化による信用される産地づくりを推進します。また生産コスト低減技術や農業生産工程管理(GAP)手法の導入、総合的病害虫・雑草管理(IPM)の定着を図り、経営体質の強化による信頼される産地づくりを推進するとともに、県育成野菜品種を活用し、産地のブランド化に役立てます。さらに、農業生産基盤の整備を計画的に進め、生産効率の高い魅力ある産地づくりを目指します。

主な取組内容

- ほうれんそうやトマトなどの高品質化を図るため、畑地かんがい施設を有効に活用するにあたり、各種支援事業(補助事業等)の計画的かつ効果的な活用を促進します。また栽培技術研修会を開催して、生産安定と高品質化技術の普及を推進します。
- レタス根腐病の防除対策を推進し、抵抗性品種の活用を柱とした品種構成の見直しを進めます。また県育成品種うど「利根白」や「切り花アジサイ」の販売促進PRによって特徴のある産地づくりを推進します。
- 生産コスト低減技術や省力軽作業化技術、並びに総合的病害虫・雑草管理(IPM)による持続的な野菜生産方式の導入を推進します。
- 実需者のニーズに対応した安全安心な野菜産地を確立するため、生産出荷団体や農場を対象に農業生産工程管理(GAP)手法の導入を推進します。
- 作業効率の悪い農地等の基盤整備を計画的に実施し、農地の有効活用を推進します。

代表的な指標

指標名	単位	H22 実績	H23 実績	H24 目標	H27 目標
雨よけハウス(野菜類)面積	ha	188	192	196	210
うど「利根白」面積	ha	5.2	10.1	12	39
畑地の区画整理面積	ha	5,014	5,019	5,034	5,038

◇環境に調和した農業生産の推進

取組方向

消費者から信頼される「安全・安心」な農畜産物生産を行うため、農業生産工程管理(GAP)手法導入の推進や農薬使用者の遵守事項を徹底します。

また、環境に配慮した農業生産を推進するため、性フェロモン剤や生物農薬などによる総合的病害虫・雑草管理(IPM)の導入や特別栽培農産物認証制度・エコファーマー認定取得を推進します。

さらに、耕畜連携による家畜ふんたい肥の有効利用を推進します。

主な取組内容

- 農産物の安全性の確保や環境負荷の低減を図るため、GAP普及推進研修会等を開催し、農業生産工程管理(GAP)手法導入を推進します。
- 消費者から信頼される農畜産物を生産するため、農薬適正使用推進員の推進や農薬適正使用研修会等を開催し、農薬使用者が遵守しなければならない事項の徹底を図ります。
- 環境に配慮した農業生産を行うため、総合的病害虫・雑草管理(IPM)の効果実証モデル団地を沼田市内及び昭和村内に設定し、取組を支援するとともに輪作や緑肥作物等を推進します。
- 環境と調和のとれた農業生産を推進するため、特別栽培農産物認証制度やエコファーマーの計画を実践するための指導や認定取得等を支援します。
- 耕種農家に家畜ふんたい肥の有効利用を推進するため、ふん尿処理施設を設置した畜産農家へ特殊肥料の届出を推進し、届出書の作成を支援します。

代表的な指標

指標名	単位	H22 実績	H23 実績	H24 目標	H27 目標
エコファーマー認定状況	人	189	189	189	209
農薬適正使用推進員	人	129	73	90	127
特別栽培取り組み面積	ha	35.7	26.1	29.0	36.1

◇中山間地域における農業生産基盤の強化

取組方向

農業従事者の減少・高齢化等により、耕作放棄地が増加傾向にあるため、関係機関が連携して耕作放棄地の解消や新たな発生防止に努めます。また、耕作放棄地の発生要因でもある野生鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、被害防止対策への支援を実施するとともに、作業効率の悪い農地や耕作放棄地を整備し、農地の有効活用を推進します。

生産性の高い営農活動を継続するために、農業用施設・農村環境の保全活動等を支援するとともに、災害を未然防止するための事業を実施します。

特定家畜伝染病(口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザなど)の発生に備え、農業関係機関・団体と連携を密にし、防疫体制を強化します。

主な取組内容

- 利根沼田地域耕作放棄地対策プロジェクトチームが中心となり、各市町村が行う耕作放棄地解消への取組を支援します。また、作業効率の悪い農地や耕作放棄地の基盤整備を推進します。
- 野生鳥獣による農作物被害の軽減のため「鳥獣害に強い集落づくり支援事業」により現地実証ほの設置を行うほか、侵入防護柵の設置等の取組を支援します。
- 既存の基幹水利施設の長寿命化を図るため、施設の機能診断を行い、必要な対策工法や監視計画を定めた機能保全計画を策定し、基幹水利施設の機能保全対策工事等に取り組みます。
- 地域共同による農地や農業用施設の保管理活動の普及・啓発を目的とした会議等を開催するとともに、市町村が実施する中山間地域等直接支払制度への取組を支援します。
- 3カ所の公共牧場(武尊、川場、大峰育成)の受入頭数を増加させるため、衛生対策(牛白血病感染率の低減など)や牧場の草地管理を支援し、牧養力の向上に努めます。
- 特定家畜伝染病(口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザなど)の発生を想定した防疫演習や研修会等を開催し、関係者の危機管理意識を高め、発生時の的確な対応に取り組みます。

代表的な指標

指標名	単位	H22 実績	H23 実績	H24 目標	H27 目標
鳥獣害対策実証ほ設置	地区	3	7	5	5
耕作放棄地率	%	18.5	18.4	18.3	18.0
農業基幹水利施設の機能保全計画策定	地区	2	3	4	4

※ H22 は単年度の実績